

## 2015「協同組合のつどい」アピール(案)

～地域を支える協同組合として～

平成27年(2015年)は、ICA(国際協同組合同盟)による現協同組合原則「21世紀の協同組合に関するICAの声明」が1995年のICA総会で採択されてから20年の節目となります。

しかし、わが国では規制改革の名の下に協同組合を否定するような農協法改正が進められています。それはJAだけでなく地域に根ざしたわが国の協同組合運動はもとより、協同組合に対する国際的な期待に逆行するものでもあることは、ICAが大きな懸念を表明していることから明らかです。

また、東日本大震災から4年が経過しましたが、避難生活を余儀なくされている方が22万5千人もおられ、被災地においては依然として復興の途上にあります。ともすれば震災の記憶が薄れていくなかで、人と人との結合体である協同組合の使命を再認識し、復興に向けた支援を継続していかなければなりません。

こうした状況に対し、個人としてまたそれぞれの組織において、あらためて協同組合の理念を理解・共有し、今日的な視点で協同組合の価値を見つめ直すことが必要です。

2015年のつどいに出席した私たちは、将来にわたって本県の協同組合が連帯を強め、新たな発展の礎とすることを申し合わせるとともに、地域を支える不可欠な存在となりうるよう、事業・活動を一層充実・強化し、協同のメッセージを不断に発信していくことを宣言します。

平成27年6月8日  
神奈川県協同組合連絡会  
神奈川県協同組合提携推進協議会